

ARECプラザ 第110回リレー講演会

機器組み込みソフトウェア分野

日時：2010年3月16日（火） 15:00～18:00

終了後、交流会 [参加費：無料]

場所：AREC（上田市産学官連携支援施設）4階

（上田市常田3-15-1 信州大学繊維学部内 Tel：0268-21-4377）

講演 1

15:00～16:00

演題 『形式手法と検証技術が創る高信頼性システムの世界』

講師：信州大学 工学部 情報工学科 教授 和崎 克己 氏

概要

組み込みシステムの多機能化・ネットワーク化に伴って、開発工数のコスト増加に対応しながら、その一方で、設計の正しさを如何に確保していくのかが、現在の重要な課題となってきている。システムの高信頼性を実現する一つのアプローチは、ハードウェア・ソフトウェア開発において、仕様の形式的な記述と、機械的な自動検証技術を応用することである。"なんとなく"システムの開発で用いている記法や概念を、モデリングに関する基礎理論を用いて形式化して、バグが入る原因を根本から取り除くための、検証技術のケーススタディについて紹介する。

講演 2

16:00～16:50

演題 『組み込みソフトウェアの開発効率化及び品質向上への取り組み』

講師：シナノケンシ株式会社 開発センター 花岡 聡 氏

概要

機器制御にCPUが取り入れられ、ソフトウェアで機器をコントロールするようになって久しい。この間、ソフトウェアはどんどん肥大化、複雑化し、市場障害の半数以上がソフトウェアの不具合になっている。そのソフトウェアの効率的な開発手法の確立と品質を確保するための、弊社の取り組みについて紹介する。

休憩 10分

講演 3

17:00～18:00

演題 『電源機器の組み込みソフトウェア』

講師：東京精電株式会社 技術部 部長 小柳 泉 氏

概要

電源と組み込むソフトウェアとは無縁な印象を受けるが、電源機器といえども組み込みソフトウェアは必要不可欠な存在となっている。当社における幾つかの開発事例（交流電源、直流電源、コンバータ、充電器等）並びに電源ならではの注意点について失敗事例を交え紹介する。また、最近話題のデジタル制御電源についての取り組みも紹介する。

お申込先

ARECプラザ宛 メール（mousikomi@arecplaza.jp）またはファックス（0268-21-4382）でお申し込みください。

| ARECプラザ 第110回リレー講演会 参加申込書 | | [平成22年3月16日（火）] | |
|---------------------------|---------|-----------------|--|
| 企業・機関名 | | | |
| 参加者名 | | | |
| 所属・役職 | 電話番号 | | |
| メールアドレス | ファックス番号 | | |

ご記入いただいた個人情報（御社名、所属・役職、氏名）は参加者名簿として、講演会参加者の方々に配布する予定です。